

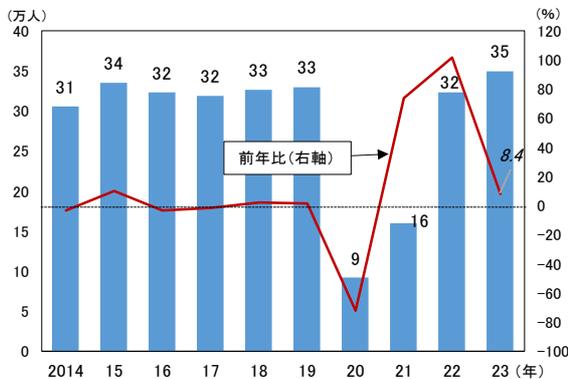
修学旅行がもたらす関係人口の拡大

注目される広島への修学旅行

広島市を訪れる修学旅行生等は2020年には新型コロナウイルスの影響により大きく落ち込みましたが、2023年は35万人（前年比+8.4%）とコロナ禍前（32~33万人）を上回って回復しています（図表1）。

広島県は全国有数の修学旅行先ですが（図表2）、最近の首都圏・関西圏等のオーバーツーリズムや宿泊費など旅行費用の増加から、代替先としての注目度も高まっているとみられます。

図表1 広島市の修学旅行生等の推移



(資料)広島市「広島市観光概況」、「広島市入込観光客数について」よりひろぎんHD経済産業調査部(以下当部)作成

図表2 修学旅行先の都道府県別ランキング(2022年度)

【中学校】				【高等学校】			
順位	旅行先	件数	構成比	順位	旅行先	件数	構成比
1	京都	356	20.1	1	大阪	299	13.5
2	奈良	304	17.2	2	京都	286	12.9
3	大阪	122	6.9	3	沖縄	175	7.9
4	東京	95	5.4	4	東京	171	7.7
5	千葉	76	4.3	5	奈良	161	7.3
6	広島	67	3.8	6	千葉	127	5.7
7	長崎	64	3.6	7	兵庫	122	5.5
8	兵庫	54	3.1	8	広島	115	5.2
9	福岡	45	2.5	9	北海道	41	4.2
10	熊本	40	2.3	10	福岡	40	3.9

(注)上位10都道府県

(資料)(公財)日本修学旅行協会「教育旅行年報データブック2023」より当部作成

修学旅行が将来に亘り広島と繋がる機会に

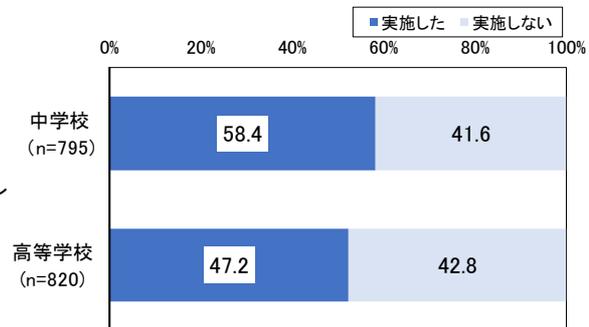
修学旅行生の入込観光客数全体に占める割合はさほど高くはありませんが、観光関連事業者にとって、①平日や閑散期における宿泊需要が見込める、②早期予約のため受入計画を立て易いなど、大切な顧客であり、観光需要の下支えともなっています。

また、修学旅行は、こうした経済的側面にとどまらず、将来のリピーター、すなわち「関係人口」の観点からも地域にとって極めて重要な機会と言えます。

例えば、近年、修学旅行を探究的学習の実践の場として体験活動を取り入れる学校が増えています。2022年度には中学校の6割近く、高等学校の5割近くが実施しており（図表3）、こうした体験活動は従来にも増して広島印象を高め、理解と関係性を深めてもらうきっかけともなります。

修学旅行が一過性の思い出として終わるのではなく旅行生が愛着をもって広島と繋がる機会となることを期待したいと思います。

図表3 修学旅行での体験活動実施率(2022年度)



(資料)(公財)日本修学旅行協会「教育旅行年報データブック2023」より当部作成

- ◆ 本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ◆ 本資料は、信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。また、本資料に記載された内容等は作成時点のものであり、今後予告なく修正、変更されることがあります。資料のご利用に関しては、お客さまご自身の責任において判断なされますよう、お願い申し上げます。
- ◆ 本資料に関連して生じた一切の損害については、責任を負いません。その他、専門的知識に係る問題については、必ず弁護士、税理士、公認会計士等の専門家にご相談のうえ、ご確認ください。
- ◆ 本資料の一部または全部を、当社の事前の了承なく複製または転送等を行うことを禁じます。
- ◆ 本件に関するご照会は、ひろぎんHD経済産業調査部 担当：稲田 (TEL082-247-4958) までお願いします。